

一般質問

金井田
議員

○高齢者を一人にしない地域で支えあうための対策について

質 老人クラブの対象年齢について。減少傾向にある老人クラブについて、減少をくい止める策、もしくは復活する策など市として何らかの施策はありますか。

長寿介護課長 各单位老人クラブに対し、補助金を交付し、草刈り・清掃等の美化活動や、世代間交流等の地域活動、体操やグラウンドゴルフなどの健康づくり活動などに活用いただいています。また、活動の様子を市報に掲載し、周知を図っています。

質 外出支援券について、これまでのわくわくおでかけ券とは対象者等が変更されているわけですが、変更後の状況について支援券の受け取り方法はどうかしていますか。運転できない方・されない方への交付です。今後何らかの配慮を希望します。

長寿介護課長 市役所本庁長寿介護課、福祉事務所、福島支所、鷹島支所など各支所・出張所で申請いただき、その場で外出支援券を交付しています。

質 島外に出るにはフェリーで行けない、島内では車を運転しないのに、島外に出る場合はフェリーを利用して病院や買物に行く。この場合は対象にならないと聞いていますが、どうなっていますか。

長寿介護課長 島内での運転は、日常生活において運転しているものと判断しており、交付対象者にはしていません。この外出支援事業は、単に交通費の助成を目的としたものではなく、特に介護予防の必要な方に對して移動に関するハードルを下げて外出を促すものであり、その点についてご理解をいただきたいと考えております。

○消防団の魅力化構想について

質 夏季訓練の日程についてお尋ねします。近年の温暖化による猛暑の夏場に訓練するのは何か理由があるのでしょうか。熱中症も懸念されるのでしょいか。消防団員をはじめ消防関係者、消防署員の方々の安全を守るためにも訓練時期の変更を提案します。

消防団長 訓練の日程については、消防団本部会議の中で協議され、例年、各地区がそれぞれ計画する日程で実施されています。夏場の訓練は体力的にも厳しいものですが、厳しい環境下での訓練を行えば、気候にも左右されない強い体力や精神力、消防団員間の強い絆が育まれるなどメリットが多くあると思うところで。

一般質問

川下
議員

○黒島での避難のあり方とコミュニティセンターの防災強化補修について

質 台風接近の際に住民は避難所として黒島住民センターを利用したが、その後行政より利用しないほしい旨の話があったと聞く。しかしもう一つの施設、黒島地区多目的集会施設は古く、台風の際の避難所としては安全といえない。しかも自治公民館でないため防災強化のための補助金は対象外とのことだった。避難先の限られた黒島の住民が安全に避難するために市はどのように考えるか。

防災課長 黒島住民センターは松浦市地域防災計画において指定避難所として定めていますので、災害の恐れがあるときには避難所として利用することが出来ます。「施設を利用しないでもいい」との話については、行政側との言葉の行き違いがあったものと思われます。今後は鷹島支所を通じ、黒島住民センターの利用方法について黒島地区住民の皆さまへ周知を図っていきたいと考えています。

○持続可能な文化芸術団体の育成の観点からの支援事業他、文化芸術振興政策について

質 市内の文化芸術活動団体は減少している。これらの団体が存続するためには収入の確保が大切であるがその機会は少ない。その現状を踏まえ、今回は「我がまちのアーティスト」への支援および育成の面から見た文化芸術振興策について質問する。定められた期間、その団体が行う公演や慰問活動に対して市が全面的に支援を行う「仮称、松浦市指定アーティスト育成事業」を提案したい。

生涯学習課長 市の指定アーティスト制度について、本市の文化芸術の振興を図る上では有用な手段の一つであろうと考えます。文化芸術分野ですばらしい才能・技能などをお持ちの人材を市として育成・PRし、文化芸術の振興に活用していく取り組みができないか、今後、研究していきたいと考えます。

質 市内アーティストを活用した際の謝礼について、芸術的価値を提供する人材にはきちんとお支払いをするべきと考えるが。

生涯学習課長 市が地元アーティストへ出演・参加を依頼する際の謝金について、特に規定はありません。芸術的価値というものは適正に評価されるべきであると思っています。祭り等のご出演に対しては、出演依頼の趣旨をご理解の上、お礼という形でお支払いをしています。